

ハノイ渡航報告

2019年11月27日～12月1日



渡航者

- コンテスト優勝者（プラン名：ホーカーズ・オーカーズ）

河合昌（商学部3年） 榎田裕美子（商学部4年）

- 学生事務局

中里優佳（法学部3年）

- 引率教員

神岡太郎（経営管理研究科教授）

1. ビジネスプラン発表会

ハノイ渡航二日目の11月28日の午前中に、ハノイ貿易大学(Foreign Trade University : FTU)にて、FTUの学生と共にビジネスプラン発表会を行いました。FTUからは、FTUで本コンテストと同様に株式会社 JOUJU 様からの支援によって開催されているコンテストの優勝チームに参加して頂きました。お互いにプレゼン、質疑応答を行い交流しました。



それぞれのビジネスプランに日本特有、ベトナム特有の要素があり、質疑応答を通じてそのような部分への理解を深めることができました。また、自分のビジネスプランについて相手の国でも同じようなニーズはあるのか、全く状況が違うのかといった部分について知ることができ、お互いのチームにとって刺激になったと感じています。

また、私たちのビジネスプランは実行されていないので机上の空論に過ぎないのに対して、FTUの優勝チームは既に起業し実際に売上もたっている状況でした。その行動力や起業家精神といったものは、大いに見習うべきものであると感じました。

2. ハノイ貿易大学の学生との交流

午前中のビジネスプラン発表会を終えた後は、ベトナム料理のレストランに連れて行って頂きました。ビジネスプラン発表会とは打って変わって、日頃の大学生活の話や最近の流行の話をして親交を深める事ができました。



昼食を終えた後には、FTUの学生にハノイを案内して頂きました。ベトナム最古の大学である文廟やホアンキエム湖といった観光地や普段よく行く美味しいカフェやブン・チャーというハノイ名物料理のお店に行きました。自分達で旅行に行っただけではなかなか見られないローカルな部分にも触れる事ができとても興味深かったです。

ハノイ渡航最終日には、ハノイを案内して頂いたFTUの学生の家にお邪魔させて頂き、ローカルな生活を垣間見る事ができました。料理上手なお母さんに「おふくろの味」を振舞って頂きましたが、日本の家庭料理とほとんどなく味が似ていて本当に美味しかったです。また、家の一階を利用して美容院を営んでいらっしゃるご家庭だったので、記念に(?)髪を切って頂きました。某1000円カット店も驚きの500円でした。

3. 企業訪問

三日目の午前中は、AGS JOINT STOCK COMPANY という経営コンサルティング会社に企業訪問をさせて頂きました。ベトナムに進出したい日系企業に対して、コンサルティングを行われている企業で、ベトナムでビジネスする際の日本との違いについて沢山お話を聞かせていただくことが出来ました。

印象的だったのは、ベトナムは日本と比べて経済成長が著しく、ビジネスチャンスは沢山あるものの外資への規制がいまだに強かったり、法律が未整備なところも多かったり、進出は簡単ではないということです。また、日系企業は現地人を雇っていくのに対して、韓国企業は派遣した韓国人を現地化させる戦略を取っているなど、企業の国籍ごとの戦略の違いのお話もとても興味深かったです。



4. 如水会ハノイ支部の方々との交流

三日目の夜は、ハノイで活躍されている如水会の皆さんと交流させて頂きました。商社や銀行の方からなんとお医者さんの方まで、且つベトナム在住歴が1年目の方から数十年の方まで、非常に多彩な顔ぶれの方にお集まり頂きました。同じ話をしている意見や体験談は業界によって真逆であったり、成長の著しいベトナムの昔についても知る方がいらっしたり、ベトナムについて多角的に知ることのできる非常に貴重な機会でした。

中でも印象的だったのは、「日本にいる時より楽しい、日本に帰りたくない」と皆さん口を揃えておっしゃっていた事です。どんな仕事をされていてもこの点に関しては皆同じ意見であることに驚きました。やはり海外での仕事は簡単なものではなく、国や文化の異なる人々とどのように接するかについては苦勞されている方も多いように感じられました。それでも、そうした苦勞を超える程に、日本にはない仕事の面白さややりがいが大きく存在しているのだらうと思います。学生のうちにこのように生き生きと仕事に向き合っている方々の姿を見る事ができ、大きな憧れを抱きました。

5. まとめ

プレゼン発表会、学生との交流、企業訪問、如水会ハノイ支部の方々との交流といったどれもただ旅行で訪れたのでは、絶対に出来ないような貴重な経験を沢山させて頂き、そのどれもがこれからグローバルに働くことが当たり前になってくる時代を生きていく上で貴重な財産になると感じております。

このような経験が出来たのは、株式会社 JOUJU 様の支援があったからであり、大変感謝しております。このコンテスト、ハノイ渡航を通じて得た経験を糧として日本・世界の成長、発展に貢献していきたいと考えています。また、引率して頂いた神岡先生、渡航をセッティングして下さった研究社会連携課の皆様誠にありがとうございました。そしてハノイでスケジュールがスムーズに進むよう手助けをして下さった中里さん、ビジネスプランコンテストを中心となって運営して下さった学生事務局の皆さん、ありがとうございました。多くの方々の支援があってこのような貴重な経験をすることが出来ました。大変感謝しております。